

## ■PHPのMySQL関数一覧

2010.11.17 大角

No	関数	機能	chk	サンプル他
1	mysql_affected_rows	一番最近の操作で変更された行数を得る	▲	
2	mysql_client_encoding	MySQLのcharacter_set 変数の値を取得、文字セット名を返す	△	\$charset = mysql_client_encoding (\$link);
3	mysql_close	MySQL 接続を閉じる	◎	持続的でないリンクはスクリプトの実行終了時に自動的に閉じられるので、通常は mysql_close() を使用する必要なし。
4	mysql_connect	MySQL サーバへの接続をオープンする	◎	\$link = mysql_connect ('localhost', 'user', 'password');
5	mysql_create_db	MySQL データベースを作成する	×	廃止予定、代わりに mysql_query() を用いて CREATE DATABASE ステートメントを発行する方法が推奨
6	mysql_data_seek	内部的な結果ポインタを移動する	▽	
7	mysql_db_name	データベース名を得る mysql_list_dbs() をコールした結果からデータベース名を取得します。	○	\$db_list = mysql_list_dbs(\$link); \$i = 0; echo mysql_db_name (\$db_list, \$i)
8	mysql_db_query	MySQL クエリーを送信する	×	PHP 5.3.0 で非推奨
9	mysql_drop_db	MySQL データベースを破壊(削除)する	×	非推奨、mysql_query() を用いて DROP DATABASE 文を発行する方法が推奨
10	mysql_erro	直近の MySQL 処理からエラーメッセージのエラー番号を返す	○	echo mysql_errno (\$link) ; // mysql_error(\$link);
11	mysql_error	直近に実行された MySQL 操作のエラーメッセージを返す	○	echo mysql_errno(\$link) ; // mysql_error (\$link);
12	mysql_escape_string	mysql_query で使用するために文字列をエスケープする	▲	「%」と「」は、エスケープしない
13	mysql_fetch_array	連想配列、添字配列、またはその両方として結果の行を取得する 取得した行に対応する配列を返し、内部のデータポインタを前に進めます。	□	while (\$row = mysql_fetch_array(\$result, MYSQL_NUM)) { print("ID: %s Name: %s", \$row[0], \$row[1]); }
14	mysql_fetch_assoc	連想配列として結果の行を取得する 取得した行に対応する連想配列を返し、内部のデータポインタを前に進めます。	◎	while (\$row = mysql_fetch_assoc (\$result)) { echo \$row["userid"]; ... }
15	mysql_fetch_field	結果からカラム情報を取得し、オブジェクトとして返す 特定のクエリー結果の中のフィールドに関する情報を得るために使用可能です。	□	\$i = 0; \$meta = mysql_fetch_field (\$result, \$i);
16	mysql_fetch_lengths	結果における各出力の長さを得る 一番最近に取得された行における各フィールドの長さを 格納した配列を返します。	□	\$lengths = mysql_fetch_lengths (\$result);
17	mysql_fetch_object	結果の行をオブジェクトとして取得する 取得された行を表すプロパティを有するオブジェクトを返し、内部のデータポインタを前に進めます。	▽	while (\$row = mysql_fetch_object (\$result)) { echo \$row->user_id; ... }
18	mysql_fetch_row	結果を添字配列として取得する 取得された行に対応する配列を返し、内部のデータポインタを前に進めます。	□	\$row = mysql_fetch_row (\$result); echo \$row[0]; ...
19	mysql_field_flags	結果において指定したフィールドのフラグを取得する 個々のフラグは、空白一つで区切られた 形式で返されます。	□	フラグ: "not_null", "primary_key", "unique_key", "multiple_key", "blob", "unsigned", "zerofill", "binary", "enum", "auto_increment", "timestamp"
20	mysql_field_len	指定したフィールドの長さを返す	□	\$length = mysql_field_len (\$result, 0);
21	mysql_field_name	結果において指定したフィールド名を取得する	□	echo mysql_field_name (\$result, 0);
22	mysql_field_seek	結果ポインタを指定したフィールドオフセットにセットする	▽	
23	mysql_field_table	指定したフィールドが含まれるテーブルの名前を取得する	□	\$table = mysql_field_table (\$result, 0);
24	mysql_field_type	結果において指定したフィールドの型 ("int", "real", "string", "blob" 他) を取得する	□	\$type = mysql_field_type (\$result, 0);
25	mysql_free_result	結果保持用メモリを開放する。スクリプト実行のメモリの使用量が多すぎると懸念される場合にのみ必	△	mysql_free_result (\$result);
26	mysql_get_client_info	MySQL クライアント情報を取得する。クライアントライブラリのバージョンを表す文字列を返します。	□	echo mysql_get_client_info ();
27	mysql_get_host_info	MySQL ホスト情報を取得する。使用されている接続の型を返します。その中にはサーバのホスト名も含まれます。	□	echo mysql_get_host_info ();
28	mysql_get_proto_info	MySQL プロトコル情報を取得する	□	echo mysql_get_proto_info ();
29	mysql_get_server_info	MySQL サーバ情報:バージョンを取得する	□	echo mysql_get_server_info ();
30	mysql_info	直近のクエリについての情報を得る	□	
31	mysql_insert_id	直近のクエリで生成された ID を得る 直近のクエリ (通常は INSERT) により AUTO INCREMENT カラム用に生成された ID を取得します。	△	mysql_query("INSERT INTO mytable (product) values ('kossu');"); printf("最後に挿入されたレコードの ID は、%d\n", mysql_insert_id ());
32	mysql_list_dbs	MySQL サーバ上で利用可能なデータベースのリストを得る	○	\$db_list = mysql_list_dbs (\$link); \$i = 0; echo mysql_db_name(\$db_list, \$i)
33	mysql_list_fields	MySQL テーブルのフィールドのリストを得る	×	非推奨、mysql_query() を利用して SHOW COLUMNS FROM table [LIKE 'name'] 文を推奨
34	mysql_list_processes	MySQL プロセスのリストを得る	□	
35	mysql_list_tables	MySQL データベース上のテーブルのリストを得る	○	\$db_list = mysql_list_dbs (\$link); \$i = 0; echo mysql_db_name(\$db_list, \$i)
36	mysql_num_fields	結果におけるフィールドの数を得る	○	echo mysql_num_fields (\$result);
37	mysql_num_rows	結果における行数を得る	○	echo mysql_num_rows (\$result);
38	mysql_pconnect	MySQL サーバへの持続的な接続をオープンする... 持続的(persistent) スクリプトの実行が終了しても SQL サーバとの接続が 閉じられない	◎	接続時にまず 同じホスト、ユーザ名、パスワードを有する(持続的)リンクが すでにオープンされていないかどうかを調べます。それがみつかった場合、新規の接続をオープンする代わりにそのリンクの ID が返されます。
39	mysql_ping	サーバとの接続状況を調べ、接続されていない場合は再接続する	×	MySQL 5.0.13 以降、自動再接続機能は使えなくなりました。
40	mysql_query	MySQL クエリーを送信する	◎	\$result = mysql_query ( クエリ文 [, DB接続ID] );
41	mysql_real_escape_string	SQL 文中で用いる文字列の特殊文字をエスケープする	○	「%」と「」は、エスケープしない
42	mysql_result	結果データを得る 成功した場合に MySQL 結果セットのひとつのセルの内容、失敗した場合に FALSE を返します。	◎	\$cell = mysql_result ( \$result , \$row_no [, フィールド名またはフィールドのオフセット] );
43	mysql_select_db	MySQL データベースを選択する 指定したリンク ID が指すサーバ上のデータベースを、アクティブな データベースに設定 クライアントの文字セットを設定する	◎	\$db_selected = mysql_select_db ('selectTABLE', \$link);
44	mysql_set_charset	現在の接続における、デフォルトの文字セットを設定:MySQL 5.0.7 以降可能	×	文字セットを変更するにはこの方法を使うことを推奨。mysql_query() で SET NAMES .. を実行する方法はお勧めできない。
45	mysql_stat	現在のシステム(サーバ)の状態を取得する	□	mysql_stat (\$link);
46	mysql_tablename	フィールドのテーブル名を得る	×	非推奨: SHOW TABLES [FROM db name] [LIKE 'pattern'] 文を推奨
47	mysql_thread_id	カレントのスレッド ID を返す	□	
48	mysql_unbuffered_query	MySQL に SQL クエリーを送信するが、結果に対してのフェッチやバッファリングは行わない	○	mysql_num_rows() や mysql_data_seek() が使用不可、結果の行をすべてフェッチするまで、MySQL に 新しいクエリーを送信不可